

子どもセンター新装 子供たちも開設祝う

習志野市子どもセンター(鷺沼1丁目)が1月5日、リニューアルオープンした。

子どもセンターは、主に就学前の子供と保護者の子育て支援のための施設で、子ども園併設の3ヶ所と合わせて市内には4ヶ所ある。



リニューアルオープンした習志野市子どもセンター



くす玉を開き全員でお祝い

平成12年に開設された。25年10月に屋根梁の耐力不足がわかり、地震などの被害が懸念されたことから閉鎖し、鷺沼運動会館「ヴィーラージュ」の2階と白鷺園の園庭を使った暫定施設として運営されてきた。その後、早期再開を求め声が上がり、建替え工事が進められていた。

親子で自由に遊べるほか、利用者間で交流ができ、子育てに関する情報や学習機会の提供も行われ、センター職員が「子育て支援コンシェルジュ」が相談に応じている。

習志野市子どもセンターは旧鷺沼保育所を改修して

あり、おはなし会、子育ての情報交換を行う「おしゃべり広場」といった行事が行われる。新しい建物は以前より小ぶりになったものの、屋外の遊び場は500㎡以上広くなった。

利用者は「これまで雨の日には子供たちがいっぱいでしたが、改めて新しい遊び場ができてうれしい」と話している。

式では新施設の完成を祝ったが、広くて新しい遊び場ができてうれしいと話している。オープンはお披露目が催され、開設を待ちわびた親子をはじめ、地元町会、社会福祉協議会、市の関係者らも出席した。宮本市長は「子供たちには遊び回ってほしい、保護者にはいろいろな相談、情報交換に役立つ施設として活用していただきたい」と挨拶した。

【施設の概要】▽所在地 習志野市鷺沼1-1-24
▽電話 047-452-3711▽敷地面積 3052.5㎡▽構造 鉄骨造・平屋建て▽延べ床面積 190.92㎡

大会組織委員会が発足

来年8月の世界女子ソフト

来年8月に千葉県で開催される第16回世界女子ソフトボール選手権大会の組織委員会が平成28年12月22日、発足した。

大会準備の本格始動となる組織委員会の設立後には設立パティが開かれ、森田健作・千葉県知事のほかに関係者多数が出席した。

大会を主催する公益財団法人日本ソフトボール協会の徳田寛会長、千葉県ソフトボール協会の扇原賢二会長、江波戸三好名誉会長らが開催に向けての意欲を示し、大会の成功が祝われたい。組織委員会の勝又隆一会長は「地元との交流や選手を身近に感じることができ

きるような形で盛り上げていきたい」と挨拶した。

大会日程は平成30年8月2日から11日間。8月3日から予選ラウンドには秋津野球場のほか、成田市のナスバ・スタジアム、市原市のゼットエー・ボールパーク、決勝トーナメントほかではZOZOマリスタジアムが使われる予定。開催の日本を含め、世界各国の予選を突破した16ヶ国・地域の代表チームが世界一を争う。

新たな賞活動に励み

ビューティーケア習志野

高齢者施設でリラクゼーションを提供するボランティア団体「ビューティーケア習志野」が平成28年度千葉県福祉賞を受賞した。

この賞は昭和51年に創刊20周年記念事業の一環として始められた。「恵まれない人々のために社会の片隅で善意に満ちた無償の社会奉仕活動に尽力した人たちの功績を称えて贈られている。

ビューティーケア習志野は、平成9年に養護老人ホーム・白鷺園で活動を開始して以来、ケアセンター習志野、マイホーム習志野、ゆりの木習志野、セイワ習志野と訪れる施設を広げ、利用者たちにハンドケアなど

でリラクゼーションをもう一度しむも行い、小中学校の児童・生徒を対象にした「ほっとケア」などの福祉授業によって、子供たちに福祉の心を芽生えさせている。

こうした活動は新聞などで紹介され、平成21年には第2回鈴木金属工業地域社会貢献賞(現在は日鉄住金SGワイヤ地域社会貢献賞)を受賞したほか、多くの福祉財団や福祉基金から助成を受けてきた。

昨年12月の白鷺園では、サンタ帽を被った会員たちが利用者にお祝いがあり「お変わりありませんか」と声をかけながら、ハンドケアなどを施していった。田久保美津子代表は「季節ごとに工夫し、楽しく活動したい」と、ク

白鷺園の担当者は「継続した訪問なので、利用者は声をかけてもらえればうれしいですよ。気分転換の一つでもあり、外部の人との接触によって明るい気持ちになれば、生活にも張りが出て、大変ありがたかったです」と語った。

ビューティーケア習志野の現在の会員は43名。訪問活動に参加できない賛助会員には家族の介護を抱える人も少なくなく、ビューテ

を聞いた。鷺沼連合町会と子育て支援団体では「ならしのきらっ子」子どもまつりを開催し、収益金から遊具を寄付してきた。鈴木は「施設の概要」▽所在地 習志野市鷺沼1-1-24
▽電話 047-452-3711▽敷地面積 3052.5㎡▽構造 鉄骨造・平屋建て▽延べ床面積 190.92㎡

また、少年野球の育成指導に尽力した松丸泰司さんと宮澤富士男さん、ソフトボールの鷺沼イーグレットから表彰を受けた。

「ビューティーケア」の活動は、英国赤十字社で生

母親たちにハンドケアなど

白鷺園を訪れハンドケアなどを行うビューティーケア習志野のメンバー

タスカルーサから公式訪問団
姉妹都市提携30周年

米国のアラバマ州の姉妹都市・タスカルーサ市から姉妹都市提携30周年を記念した公式訪問団が平成28年10月27日から31日まで、習志野市を訪れ、市主催の記念式典と祝賀会が開かれた。

両市は青少年交流を中心に、教育、文化、スポーツなどの分野で交流を重ねてきた。今年8月にはタスカルーサ市で習志野市との30周年、ドイツのショーンルフト市との20周年とガーナ市のスニヤニ市との5周年

楽しく汗、笑顔でゴール ならしのスマイルラン



親子マラソンのスタート

第3回「ならしのスマイルラン」が平成28年11月13日、茜浜緑地公園で開かれた。

親子マラソン、親子リレームラソン、20kmリレーム

ランが行われ、親子64組をはじめ233名の参加者が晴天の下、海を望める茜浜のコースを力走した。

ならしのスマイルランはプロアスリートの小池賢運菅本部長の「茜浜でスポーツイベントができたらいいな」という思いから生まれた。開会式で主催した一般社団法人オービックシーガルズ習志野スポーツクラブの渡辺雄一理事は「楽しく汗を流して、笑顔で帰れるように」と挨拶。親子マラソンの参加者は全員で「がんばるぞ」と気合いを入れ、一斉にスタートした。

習志野市スポーツ少年団「第4回体育祭」が平成28年11月6日、秋津小学校グラウンドで開かれた。

秋晴れの下、「相手に負けるな！自分に負けるな！」を叫び出し、ゴールへその一歩一歩を踏み出す姿が、観客を魅了した。

開会式ではスポーツ少年団に所属する野球、ソフトボール、サッカー、剣道、バレーボール、陸上競技の各チームが、旗手を務めた表刺クラブの松浦冬弥さんを先頭に入場行進。オール大久保剣道部の谷川晴仁さん、藤崎シークレットの石ん、藤崎シークレットの石橋夏希さん、荒木爽太さん、小林優介さん、Team Aceの桜田颯太さんが団員綱領にある「スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします」との「誓い」を述べた。

また、少年野球の育成指導に尽力した松丸泰司さんと宮澤富士男さん、ソフトボールの鷺沼イーグレットから表彰を受けた。

車椅子体験コーナーも NESスポーツフェス

「NESスポーツフェス」が平成28年12月3日、東部体育館を中心に開かれた。

NPO法人習志野アイスダンススポーツクラブ(NES)は、市内東部地区での総合型地域スポーツクラブとして、スポーツと文化活動合わせて21種目を展開している。会員385名が加入している。スポーツフェスティバルの会場では卓球、



車椅子を体験する小学生

スポーツ体験に大勢の親子連れやシニアが参加。開会式で高梨泰一理事長は「健全社会の実現にスタッフ一同がんばりたい」と挨拶した。

オープニングでは「見る

スポーツ」として、太極拳の演舞が披露されたほか、クライミングウォールでは、スポーツクライミングが東京2020オリンピックの正式競技となったことから、複合種目としての実施が提案されているリード、ボルダリング、スピーションが行われた。

また会場では「障害者週間」の初日に当たり、車椅子

子の体験コーナーも設けられた。体験した小学3年生の児童は「カーブを曲がるのが思ったより難しかった。身体の不自由な人は大変だなと思いました」と感想を語っていた。体験コーナーの担当者は「大人でもあまり経験した人がいない。介護をする場合もされる場合もあり、関心を持ってもらいたい」と話している。

各競技チームが集結！ スポーツ少年団体育祭



入場行進

習志野市スポーツ少年団「第4回体育祭」が平成28年11月6日、秋津小学校グラウンドで開かれた。

秋晴れの下、「相手に負けるな！自分に負けるな！」を叫び出し、ゴールへその一歩一歩を踏み出す姿が、観客を魅了した。

開会式ではスポーツ少年団に所属する野球、ソフトボール、サッカー、剣道、バレーボール、陸上競技の各チームが、旗手を務めた表刺クラブの松浦冬弥さんを先頭に入場行進。オール大久保剣道部の谷川晴仁さん、藤崎シークレットの石ん、藤崎シークレットの石橋夏希さん、荒木爽太さん、小林優介さん、Team Aceの桜田颯太さんが団員綱領にある「スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします」との「誓い」を述べた。

また、少年野球の育成指導に尽力した松丸泰司さんと宮澤富士男さん、ソフトボールの鷺沼イーグレットから表彰を受けた。